

【概要】

- 福島第一原子力発電所1号機原子炉格納容器ガス管理設備気体状放射性物質濃度（以下、長半減期希ガス）については、当社ホームページ内のプラントデータ「6時間毎のデータ（CSV）」において、公表しております。
- 当社当直長が9月5日に運転日誌を確認していたところ、当該長半減期希ガスの指示値が「0.00E+00」であり、濃度が検出限界値未満（以下、ND）であることがわかりました。
- 上記を受けて、当社ホームページにおいて掲載しているプラントデータ「6時間毎のデータ（CSV）」について、本年（2020年1月1日以降）のデータを確認したところ、本来、検出限界値を入力すべきところを、87箇所において、運転日誌上の指示値がそのまま入力されていることを、9月5日に確認しました。（2020年9月7日お知らせ済み）
- その後、当該長半減期希ガスのデータが残っているシステムについて2015年1月16日まで遡って確認を行ったところ、当社ホームページ掲載箇所新たに83箇所において、同様の誤記を確認しました。
- 誤記が発生した原因は、1号機の長半減期希ガスデータ（Kr-85）は自動で運転日誌に入力される仕組みになっておりますが、一方でND値を当直員が手動で採取し、比較する必要があり、実施方法をガイドで明文化していなかったこと、また、他号機（2、3号機）長半減期希ガス（Kr-85）では自動入力されず、当直員が手動でデータとND値を採取し入力しており、1号機と他号機では入力方法が異なっていることから、誤認識を招きやすかったことが原因と推定しています。
- なお、その他、運転日誌のデータについては誤記がないことを確認しております。
- 対策については、自動入力される指示値とND値を比較する手順を9月11日に所内に周知しており、今後、ガイドの見直しを行ってまいります。
- 当該ホームページにおいては、今後準備が整い次第、速やかに訂正してまいります。